



ボランティアセンターだより

2019年8月 No. 129号



兵庫県では8月は「人権文化をすすめる県民運動」推進強調月間です。「人権文化」とは「人間として正しいこと」つまり、一人一人を大事にするということ。じぶんを大切に。一緒に住んでいる人を大切に。なかまを大切に。動物を大切に。(命を大切に)こまっている人を助けたり、相手のことを考えた行動をすることが日常の生活で自然とできることです。

おもいやりポイント制度説明会

日時 **8月23日**(金) 14時~

場所 榎列公民館
(榎列下幡多802)

同時開催



国生みの聖地
おのころ島神社講話

講演 思いやりは心と心を結ぶ糸
桂 文喬
13:30~15:10
大ホール(13時開場)

- 講演 桂 文喬
- 寄席雑子の解説
- 落語2席 桂 勢朝 桂 喬美
- 鹿芝居



大学卒業後、桂文枝に入門
朝日放送落語新人コンクールで見事に優秀賞を受賞 入門10年を迎えたのを機に毎年独演会を開き、多くのファンで会場はいつも満員 日本興業のタレントの中でも博学者として知られる

* イベント内容 *
10:30~13:00

* きらら・ウインズ * クッキー・わたがし	* 社会福祉協議会 * ペットボトルを使って小物いれやペンケースを作ろう
* いざみ会 * 夏野菜カレー	* いちばん星 * かき氷・ミックスジュース、アイスコーヒー
* ガールスカウト * クラフト・ゲーム	* 淡路三原高校 * ハルーンアート・折り紙
* 社会教育課 * 啓発グッズの配布	* 人権擁護委員 * 人権相談
	* 人権教育研究協議会 * 人 ken まちるくんとあゆみちゃんと松帆銅鐸のぬり絵

* 講演会は手話通訳があります。
* 託児が必要な場合は、事前にお申込みください。

* 問い合わせ・申込み先
南あわじ市社会教育課
TEL43-5232 FAX43-5332
平日 9時~17時

主催 南あわじ市人権フェスティバル実行委員会
後援 南あわじ市 南あわじ市教育委員会 洲本人権擁護委員協議会 南あわじ市社会福祉協議会
南あわじ市いざみ会 (福)淡路島福祉会 ガールスカウト兵庫県第95団 NPO法人いちばん星
兵庫県立淡路三原高等学校 南あわじ市人権教育研究協議会

鈴虫の里親を募集しています

今年もボランティアの方が飼いだめた鈴虫が孵化し、子どもたちがたくさん育っています。里親を希望される方はボランティアセンターまでご連絡ください♪

8月中旬頃から鳴きはじめます。9月にピークを迎え、10月まで鳴き声を楽しむことができますよ！



「傾聴ボランティア入門講座」を開催しました

7月に4回にわたり、「傾聴」の基礎を学ぶ講座を行い、22名の方にご参加いただきました。施設での実践も交えながら、傾聴の心得やポイントを学びました。また、アイマスク・白杖体験やボランティア活動者のお話を聞くことで、実際の活動をイメージした講座内容となりました。受講生の方からは、「寄り添う心の大切さを感じた」「初めての受講でも楽しく学ぶことができた」との声をいただきました！みなさんは今後施設などでの活動を予定しています。



セミの「ミン…ミン」というあの鳴き声ですが、スマホを通すと相手には聞こえません。携帯電話が対応している周波数は 300-3500hz なのですが、セミの鳴き声は 4000hz 以上なので、相手には聞こえないのです。同じ理由から、鈴虫の鳴き声も聞こえません。不思議ですね…。



発行 南あわじ市社会福祉協議会 ボランティアセンター
〒656-0122 南あわじ市広田広田 1064
TEL: 44-3007 FAX: 44-3037
MAIL: info@minamiawaji-shakyo.or.jp



生活支援コーディネーターだより



防災は、まずはつながりと地域を知ることから



山添なかよし会

7月19日山添コミュニティセンターにおいて第5回「山添夏祭り」が開催されました。これは、山添なかよし会が、年に1回山添の小学生と時間を共有する大切な行事です。去年は子どもたちと一緒にマップ作りをし、それぞれの自宅から避難所への安全な経路を確認しました。今回も世代間の交流と防災についての学びがテーマとなっています。

昼前、終業式を終えた小学生がコミュニティセンターに集まり夏祭りが始まりました。年々子どもの数は減少しているとは言いつものの、49名もの小学生が参加してくれました。あいにくの雨で予定していた孟宗竹から流れるそうめん流しは中止となりましたが、そうめんとアルファ化米のおにぎりを食べ、元気な子どもたちの声がセンターに響いていました。このアルファ化米とは、炊飯や煮蒸などにより炊いた米を、そのままの状態でも熱風により乾燥させ、長期の保存を可能にしたものです。災害時に備蓄される物が多く、お手伝いをしてくれたお母さんたちもアルファ化米を調理するのは初めてだということで、貴重な経験になったと思います。



昼食後、防災の学びでは、各地の災害の様子を映像で見てもらい、社協職員が地震での体験を話しました。大人数の子どもたちではありましたが、経験に基づく話は大変興味深いもので、熱心に聴いている様子が非常に印象的でした。今年は、山添消防団の団員4名にも参加いただき、防災クイズを〇×形式で行い、楽しいながらも防災についての意識を高めて頂けたと思います。

中筋いきいきサロン

中筋いきいきサロンは、参加人数も多く、営農教室、料理教室、健康教室と幅広く学びの場を計画されています。また、例年、12月には中筋の子どもたちと一緒にクリスマス会を開催されている活発なサロンです。

7月の会は、いずみ会の料理教室が開催されました。夏を乗り切るスタミナ料理を作り、会食を楽しみました。いつも活発な活動をされているだけに、のんびりとみなさんが共有したおしゃべりの時間が持てなかったというのが気になっていたとのことです。今回はおいしい会食の後のゆっくりとした時間を利用して、自己紹介ゲームをしました。1~6までお題を用意し、「サイコロの出た目の番号のお題をみんなに披露する」という昭和的な自己紹介です。近くに住んでいても忙しくて、なかなかサロンのメンバーのことを知らないと言われる方も多く、楽しいことをおしゃべりする事で、印象付けられたと思います。知ることの第1歩ですね。



昨年の西日本豪雨の被災された方が振り返って言われたことは、地域住民とのつながりと、自分の地域のことを知ることの大切さだということでした。避難時にとっさの判断でわき道に逃れ、土石流から逃れたとのこと。まさに「知る」ことを身をもって体験されたお話でした。